

発表3：地元高校生がつくる修学旅行生向け 観光マップ

函館西高校 チームC

チーム名：チーム函館観光MAP

発表者：2年6組 望月 琉斗 2年3組 名張 朋之

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



11

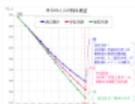
住み続けられる
まちづくりを



企画の動機 (探究活動のきっかけ)

国語の授業がきっかけ！

私のテーマ：地元の未来 6組 36番 氏名 望月琉斗



【話す内容】

・ 函館市の人口減少 函館市の2021年未時点人口3785人減 減少幅、自然減過去最多 函館市が公表した住民基本台帳に基づく2021年12月末時点の人口は、前年同月比3785人減の24万8106人で、減少幅は平成元(1989)年以降で最多となった。死亡が出生を上回る自然減は2887人でこちらも過去最多

・ 函館市を活性化させるには 誰もがいつまでも住み続けたい、再び住みたい、訪れたいと思うまちとなるために、人口が減少しても、魅力ある、活気と賑わいにあふれるまちとなるため、地域経済の活性化を図るとともに、都市機能を維持し、市民の安全・安心を守るまちづくりを、市民・企業・行政などが一体となって取り組んでいきたいと考えています。

・ 函館市の今後の課題

- ・ 地域経済の活性化と安定した雇用の確保
- ・ 北海道新幹線開業後のまちづくりの取組
- ・ 少子・超高齢社会への対応
- ・ 持続可能なまちの形成 としています。
- ・ 新たな函館の特産品



函館のこれからの将来、
問題点について
ペアで話し合うという授業

函館の人口問題に注目し、そこから
函館の観光資源を使い、学生向けに
観光マップを作り函館をPRしたいと
考えた

企画の内容 (どんな活動をしたいか)

START

学生向け函館観光マップを
作りたい！

某格付けサイト
とは違った視点
で...

函館ならではの
お店を開拓して楽し
んで欲しい！

金額を明示して
安心して利用で
きる！

元町付近の飲食店にマップ
に掲載してもいいか許可を
取る

マップを作成する
(紙とアプリ)



GOAL

修学旅行生などに配布



企画の目的 (何のために活動するのか)



修学旅行生に、地元の高校生がよく行く店を紹介することで、たくさんの思い出を作ってもらい、将来のリピーターを増やす。

そうすることで、他の地域の学生達に函館に興味を持ってもらいたい。
将来函館を再訪してほしい。(移住してほしい)

最終的に地域にも貢献できるし、函館人口問題の解決の手助けに少しでもなりたいと思い活動しています。



これまでの活動

まだ話し合い段階、計画しか立てていません
夏休みに飲食店に協力を呼びかけに行きます
依頼文は作成してあります

グループワークで話し合ってもらいたい内容

(探究をしている中での困りごと・参加者に求めるもの)

困りごと

- ・ どうやってマップアプリを作るか
- ・ アプリにした際どんな形して伝えるか
- ・ どのお店を載せるか
- ・ 紙のマップを作る場合の資金調達

参加者に求めること

- ・ お店の情報を教えてほしい
(Googleフォームでアンケート)
- ・ アプリの作る協力者
- ・ 紙でマップを作る場合の資金調達の方法
- ・ 紙の配布場所の選定と交渉の方法



← 共創サロン終了後におきましても、お店の情報を左記フォームからご教示いただけましたら幸いです！